

「課題名：HIV/AIDS 不定期受診患者の傾向と
効果的な受診継続支援の検討」について

○ 研究の意義・目的

HIV/AIDS 診療における受診中断は、治療開始の遅れや薬剤耐性獲得のリスクがあります。先行研究より、受診中断の傾向の一つとして不定期受診が挙げられていました。今回、本院における不定期受診患者の傾向を把握し、さらに有効な受診継続支援を検討するため、この研究を行いました。

○ 研究対象者

平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月末までに、広島大学病院血液内科外来通院中の HIV/AIDS 患者さんのうち、併診を除いた方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、血液検査（CD4、ウイルス量）、受診状況（未受診日、受診中断日、再受診日、未受診回数）、処方薬です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間（委員会承認後）～ 2015 年 12 月 1 日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5351

広島大学病院エイズ医療対策室

藤井 輝久（研究責任者）

城下 由衣（担当者）